

「水いぼ」取るべき？取らない？

今年も夏真っ盛りの8月になりました。子ども達が元気よく、プールなど水遊びではしゃいでいる光景が目につかびます。例年この時期になると、クリニックには「早くプールに入りたいので「水いぼ」を取ってもらいたい」という親御さんが多く来院されます。「水いぼがあるとプール遊びはできないのでしょうか？そこで、実は治療する側も悩んでいる「水いぼ」について書いてみましょう。

「水いぼ」はポックスウィルスが原因で、**伝染性軟属腫（でんせんせい・なんぞくしゅ）**と言われる直径1～3mm位の小さなイボです。わきの下、首、胸、肘、膝、陰部、顔などどこにでも出ます。本来は痛みも痒みもありませんが、アトピーっ子や湿疹ができ易い子は痒みを伴い、また引っ掻き傷で痛みを訴える事もあります。

「水いぼ」は半年から1年くらいで自然に治癒すると言われていたのですが、どんどん広がってしまう子もいます。プールでうつるとされていますが、水を介して感染する証拠はまだありません。肌と肌が接触してうつると考えられていますので、プール以外でも直接肌が触れ合う場合は注意が必要でしょう。ビート板やタオルなどを介してうつる事も考えられていますので、使用後は身体を良く洗う事が大切です。

さて、「水いぼ」の治療ですが、特殊なピンセットで取る方法と軟膏や飲み薬で様子を見る方法があります。ピンセットでとる場合は痛みが問題ですので、当院では前もって「痛み止めのシール」を貼って来院させています。効果が出るまで2～3時間貼っ

ておく事が必要です。うまくいけば全く痛みを訴えずに処置できる子もいます。プール禁止の保育園は数日で入れるようになりますのでこれを選択しています。

数十個の「水いぼ」や顔、陰部など痛みを伴いそうな所にあるものは、飲み薬と軟膏で対処しています。飲み薬は「**ヨクイニン**」という「**はと麦**」が原料の漢方薬です。飲みやすいので抵抗なく飲んでくれる子が大半です。有効例は2週間ほどで消滅しますが、一応2ヶ月間をめぐりに服用させています。

軟膏は「**紫雲膏**（しうんこう）」という漢方薬の軟膏を処方しています。一般的に「**硝酸銀の塗布**」がよく行われていますが、週に何度も来院しなくてはならない事と期待したほど効果がなかったり、皮膚の色素沈着が残るので当クリニックではやっておりません。

世間では「**イソジン塗布**」（ヨウ素入りの消毒剤）が効くという事を耳にしますが、まだ経験がありませんのでコメントできません。但し、親御さんがイソジン塗布を毎日毎日熱心に繰り返すならば、効果が期待できるかもしれません。我々の今後の研究課題にしたいと思います。

自然に治癒するといっても他の人にうつす可能性がある「水いぼ」は、放置しないで何らかの対処が必要でしょう。私は、極端なプール禁止には賛同しかねています。遊んだ後は、良く身体を水で流してやる事が大事なのです。（たまなは）